

課題3・11事例

サッポロテイネ(加森観光株式会社) 安心・安全のための新たな環境づくり

「密」を避けアウトドアスポーツを安全に楽しめる環境づくりに努めている。施設内での受付や待ち時間を軽減したり、コインの受け渡しによる接触の軽減、スムーズな会計のための取り組みを推進している。



取組内容

2014-2015シーズンより、ルスツリゾートスキー場ではICリフト券を導入。さらに2017-2018シーズンより、ウェブショップで次回以降のリフト券のチャージすることができるようになり、PCやスマホで購入することが可能で、チケット売り場に並ばずにスムーズにリフトに乗車できるようになった。また、北海道では初めて、リフト券のデポジット制度を廃止した。これにより購入時のチケット売り場での支払いや、カード返却のためにチケット売り場やホテルフロントへ立ち寄り清算する手間をなくし、お客様の利便性の向上を図っている。

ICリフト券はルスツリゾートのほかにも加森観光グループ内の他2施設、サッポロテイネ、十勝サホロリゾート(上川郡新得町)のチャージも可能で、共通のリフト券となる。

また密にならない取組として、クルーズキッチンやキッチンカーによるテイクアウトサービスも行っている。



ポイント

- リフト・ゴンドラ券WEBチャージ
- スクールレッスン・レンタル用品WEB予約
- 各種クレジット・スマホ決済
- 食券販売機の配備